

令和元年度 事業報告

1. 令和元年度事業の概要

令和元年度は、台風や大雨災害に直面したことにより、例年実施している「福祉バザー」がやむを得ず中止となりました。しかしながら、町会長をはじめとした各団体の皆様の協力をいただき、「歳末たすけあい募金」を実施することができました。

また、災害に特化した研修の実施や災害ボランティアセンター設置訓練の積極的な参加をしたことにより、今後、災害が起こった場合、姉崎地区社協として何をするべきか考えていく契機となりました。

(1) ふれあい会食会部会

高齢化が進む中での参加者の脱会が進行していることが見受けられます。会場の収容人員が限られている状況の中で、参加者の入れ替えが2回に渡り、スムーズに実施できました。

また、催し物のプログラムも年間を通して円滑に進められ、楽しむと共に健康維持にも貢献できたと思いますが、最終2ヶ月が新型コロナウイルス対応で休止されたことは残念でありました。

公民館の協力により、机と椅子の軽量化が図られ、作業性が改善されました。

(2) ふれあい茶話会部会

更生保護女性会、民児協と町会長会のスタッフと活動を始めて2年目となりました。

ふれあい交流のプログラムに“電話 de 詐欺”の注意喚起を組み入れたり、毎月の出欠席に注視したりと参加者皆様が健康で楽しくをモットーに進めてきました。

(3) 子育てサロン部会

3年前から子育て家庭支援員と主任児童委員で、姉崎公民館と共催で子育てサロンを進めてまいりました。

子育て家庭支援員は、市原市より生後4ヶ月の赤ちゃんの名簿を受け取り、全戸家庭訪問を行なっています。その際に、子育てサロンのご案内をしているのでそのママさんと赤ちゃんが『地域へのお出かけ 第一歩』として楽しみに来てくれています。

(4) そよ風部会

地区社協を中心に、社会福祉に関する情報を提供する広報誌「そよ風」52号・53号を発行しました。52号から従来のA3版からA4版に変更しました。

(5) 研修事業

令和元年度実施した研修項目を一過性に終わらせるのではなく、継続性を持たせた研修を実施しました。

秋に発生の台風、大雨災害をテーマとして、「近隣地区の有秋地区社協との連携会議」、「姉崎地区社協構成員参加の台風・大雨被災について」、市社協主催の「災害ボランティアセンター設置訓練」に参加しました。

開催予定の3小域福祉NW連絡会議は、3月上旬に予定していましたが新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。